



03

製品にはそこに携わる人々の想いや意思が込められている。
その意思を結集し、高い技術で磨き上げることで新たな製品が誕生する。

水平式パレット流動棚

ニューマ・スルーII®

WILL-1

ニーズに合った最適な運用方法を提案したい



【販売担当】 本店システム営業第一部 販売一課 河原 充

最適な提案のためには、現場を理解する事が重要

販売担当の大きな役割の一つは、お客様側に立って、ニーズに合わせた最適な提案をすることです。そのためには徹底的な調査およびヒアリングを実施することが重要です。

お客様の基本情報はもちろん、導入検討施設的环境、格納物の荷姿や量、パレットの仕様、設置検討エリアについてなど、必要となる情報を丁寧にヒアリングして把握します。それによりお客様の課題やニーズを明確化でき、最適な提案を行う事が可能となります。

また、当社は1924年の創業以来、保管システムメーカーとして100年に渡って様々なお客様と共に物流現場改善に取り組んできました。この先人達が築き上げた経験と知識を活かした提案ができることも当社の大きな強みです。

自動化・省人化など、倉庫内の作業効率化のお手伝いも可能

発売当初、ニューマ・スルーIIは先入れ先出し管理のできる「保管設備」として、単体での運用による導入がほとんどでした。しかし昨今は人手不足による自動化・省人化のニーズが高まり、「搬送機能」付き保管設備として導入されるケースが増えてきました。

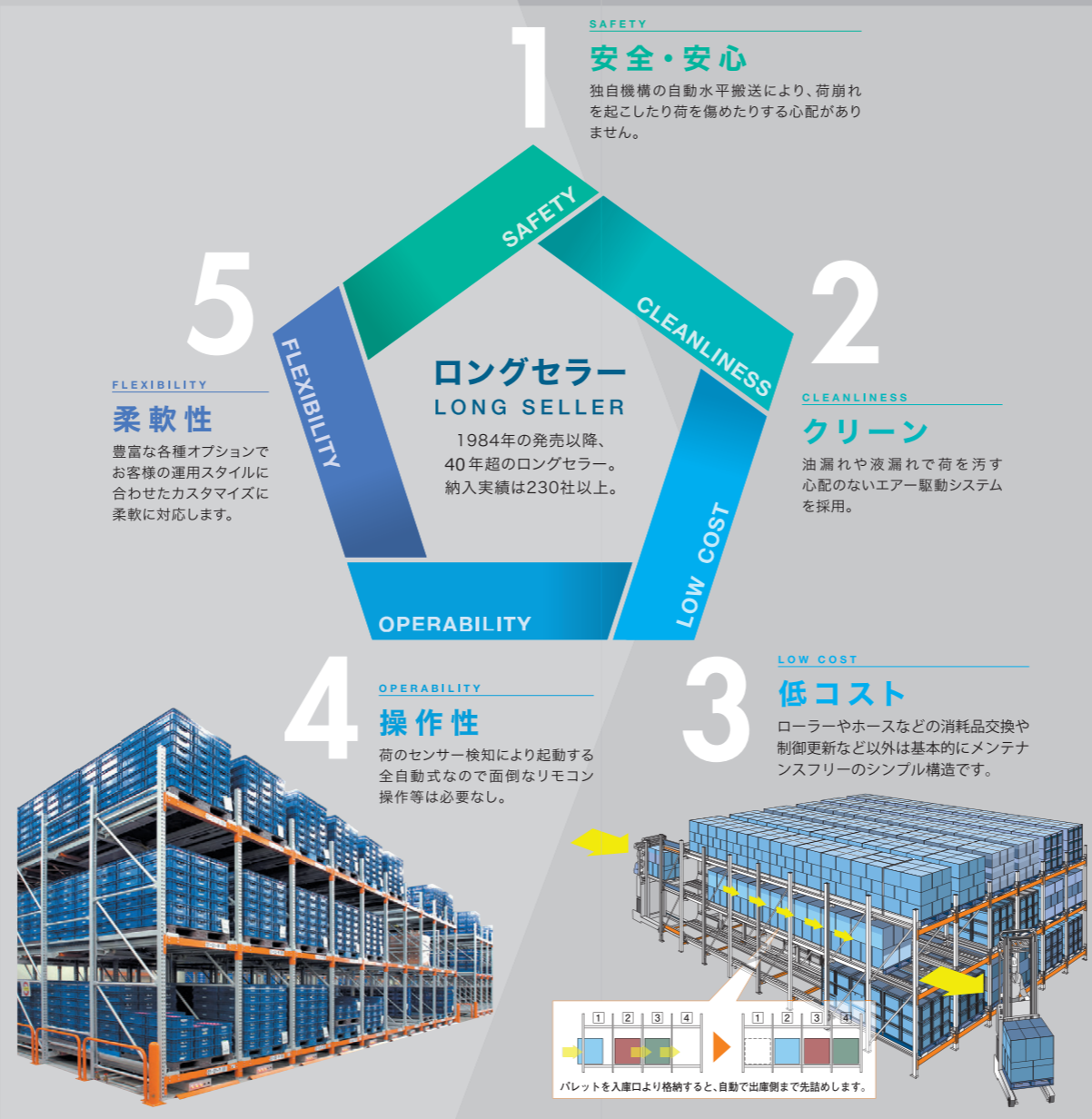
またいわゆる「2024年問題」もあり、自動化・省人化による作業効率化のニーズはさらに高まっており、クレーンはもちろん無人搬送(AGV)や無人フォークリフト(AGF)などの自動化マテハン機器との連動案件も増加しています。

一方、現在主流となっているプラスチックパレットは様々なタイプがあり、軽量化によって剛性が低いものも多く、自動倉庫などの導入の阻害要因となっています。ニューマ・スルーIIは仕様のバリエーションを多く持つことで、各種パレットにも幅広く対応可能であり、お客様のご好評を得ています。

ニューマ・スルーIIはシンプルな構造や豊富なオプションによりお客様の運用スタイルに合わせた活用が可能です。倉庫内の自動化ゾーンと非自動化ゾーンを円滑に融合させる「半自動化機器」としての役割が強まっています。

保管と搬送を両立させた物流機器
入庫するたびに自動で前進、先入れ先出し管理に適した水平式流動棚

水平式流動棚「ニューマ・スルーII」は独自の機構による水平搬送を実現し、保管効率の最大化と先入れ先出し方式による安全で確実な荷の格納・搬送を可能にしました。出荷までの一時待機やエージングスペースとして等、活用シーンは幅広く、多くのユーザーの声に対応しています。



WILL-2

ニューマ・スルーIIを進化させ、後世に引き継ぎたい

【プロダクトマネージャー】 第一設計課 佐々木 高

後世に引き継ぐために様々な取り組みを実施

ニューマ・スルーIIは水平なフリーローラーで荷物を搬送する独特な機構で、唯一無二の水平流動棚です。私はこれをさらに進化させ、次の世代へ引き継ぐことが使命だと考えています。そのために、プロダクトマネージャーとして現在様々な取り組みを行っています。具体的には、ニューマ・スルーIIの各種情報の収集や管理、

分析を行い、それら情報をもとに施策立案や規格策定等を行うことです。

また、納品までのプロセスを進化させることも大切な役割の一つです。例えば、お客様へ納入するまでに作成する「計画図」「施工図」などの各種図面に問題点がないかどうかのチェックをしたり、係わるスタッフ(販売担当、設計担当、開発担当)を集めて各種進捗状況やお客様要望の情報を共有し、案件を円滑に進めるためのミーティングを開催することなどです。

また、過去の案件で得たプロセスおよび運用上のノウハウから、メンテナンス時に得た不具合の情報まで、ニューマ・スルーIIに関するあらゆる情報を必要な時にいつでも確認、共有できるような環境の整備も実施しています。

ニューマ・スルーIIは1984年の発売から40年のロングセラー製品です。お客様の要望や現場環境の変化に合わせ、進化を続けてきました。

そして、これからもさらに進化をさせていかなくはならず、当然、これは一人の力だけでは実現できません。当社には各部門に優秀なスタッフがそろっています。さらなる進化を目指し、これからも社員一丸となって挑んでいきたいと思っています。



WILL-3

お客様の運用状態に限りなく近い試験を行うことで、安心安全に使用してもらいたい

【開発担当】 柏技術センター 製品開発課 安藤 桂吾

安心、安全を支えるのが私たちの仕事

製品開発課では、お客様に製品をご導入いただく最終段階として、過去の知見に基づいた技術支援を行っています。例えば、お客様が実際に使用されるパレットをお借りし、数週間荷重を載せたままにしてパレットの変形量を確認する試験や、複数枚のパレットを実際と同じテスト装置に格納して搬送状態を確認する試験などがあります。

これらの最終レビューを、実際の運用状態に限りなく近い実機で再現し、様々なセクションの技術者が適切な判断を行い最終調整することで、安心安全なサービスをお届けしています。

また、お客様のニーズに真摯に向き合い、努力を惜しまず積み上げてきたこれらの経験がデータベースとして製品に活かされています。この経験が、自動化・省人化・無人化のトレンドに埋もれない半自動化への適応力をもたらし、それこそがニューマ・スルーIIの強みであると考えます。

